

平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場会社名 横浜ゴム株式会社

上場取引所 東 大 名

コード番号 5101 URL <http://www.yrc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 南雲 忠信

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 宮田 哲史

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日

TEL 03-5400-4520

平成24年8月31日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	268,963	—	19,892	—	19,147	—	13,694	—
23年12月期第2四半期	258,220	8.4	7,585	△8.3	2,633	△26.1	294	△75.7

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 17,893百万円 (—%) 23年12月期第2四半期 △4,096百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	40.88	—
23年12月期第2四半期	0.88	—

当社は、平成23年12月期より決算期を毎年3月31日から毎年12月31日に変更しております。これに伴い、平成24年12月期第2四半期(1月から6月まで)と、比較対象となる平成23年12月期第2四半期(4月から9月まで)の月度が異なるため、平成24年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	492,574	184,643	36.2
23年12月期	501,786	168,286	32.3

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 178,474百万円 23年12月期 162,176百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	3.00	—	4.00	7.00
24年12月期	—	8.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	10.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	576,000	—	49,000	—	44,000	—	30,000	—	89.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成23年12月期は決算期変更により9ヶ月決算となっておりますので、平成24年12月期の連結業績予想の対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期2Q	342,598,162 株	23年12月期	342,598,162 株
② 期末自己株式数	24年12月期2Q	7,564,815 株	23年12月期	7,548,581 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期2Q	335,041,286 株	23年12月期2Q	335,059,958 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が作成した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【添付資料】

[添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表等	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社は、前連結会計年度より決算期を3月31日から12月31日に変更しております。これに伴い、当第2四半期連結累計期間(平成24年1月1日～平成24年6月30日)は、比較対象となる平成23年12月期第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年9月30日)と月度が異なることから、業績の状況の比較は記載しておりません。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州債務危機が一旦落ち着きをみせ、米国では緩やかな景気回復が見られ始めました。一方、世界経済を牽引してきた新興国の成長は、欧州向け輸出の減少や、金融引締めによる内需の拡大テンポの鈍化などにより、緩やかなものになりつつあります。タイヤ業界としては、世界的に旺盛な需要を受け、堅調に推移しております。

こうした状況のもと、当社グループは、魅力ある商品や販売施策の展開、ならびに経費削減等の内部改善を進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は2,689億63百万円、連結営業利益は198億92百万円、連結経常利益は191億47百万円、連結四半期純利益は136億94百万円となりました。

各事業の業績を示すと、次のとおりであります。

タイヤ事業の売上高は、2,111億33百万円で、当社の総売上高の78.5%を占めております。国内新車用タイヤは、販売量・売上高ともに好調でした。前年は、東日本大震災のため、自動車生産が大幅減となりましたが、当期はその反動から生産が増加し、また、エコカー減税・補助金の影響を受け、新車販売が増加したことが寄与したものであります。国内市販用タイヤは、前年の復興需要が一段落したものの、堅調に推移しました。特に、BluEarth-A(ブルーアース・エース)が、低燃費タイヤにもかかわらず、ころがり性能だけでなくWET性能をも備えている点に高い評価をいただき、販売を伸ばすことができました。海外販売は、ロシアを除く欧州、北米及び中国などでの需要の落ち込みにより弱含みで推移しました。

工業品事業の売上高は、459億16百万円で、当社の総売上高の17.1%を占めております。ホース配管事業は、自動車用ホースの販売が国内、海外ともに好調に推移しました。工業資材事業は、マリンホースの好調が続いたほか、コンベヤベルトの販売も堅調に推移しました。当社は、空気式防舷材で世界で7割のシェアを占めておりますが、市場価値を高めるため、無線やセンサー技術を活用したシステム販売に取り組んでおります。そして、昨年11月より、洋上の船舶間に置いた防舷材の空気圧を遠隔監視し、接触事故を予防するシステムを試験運用しております。ハマタイト事業における建築向け接着剤は低調に推移しましたが、自動車向け接着剤は、エコカー減税・補助金の効果でハイブリッド車や小型車が伸び、好調に推移しました。電材事業は、国内携帯電話メーカーの販売及び国内生産量が減少傾向にあるなかで、当社は積極的な販売活動により、売上げを伸ばしております。また、海外市場においても、旺盛な需要を取り込むべく、積極的な販売活動を行っております。

その他(航空部品事業・スポーツ事業等)の売上高は、119億12百万円で、当社の総売上高の4.4%を占めております。航空部品事業は、市場が弱含みであったものの、補用品の売上げは堅調を維持することができました。スポーツ事業は、市場で激しい価格競争がくりひろげられており、厳しい環境にあります。しかし、引き続き積極的な営業活動に取り組み、お客様のニーズにお応えしてまいります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産は4,925億74百万円となり、前期末に比べ92億11百万円減少しました。これは、主に売上債権の減少によるものです。

負債は3,079億30百万円となり、前期末に比べ255億68百万円減少しました。これは、主にコマーシャルペーパー、短期借入金が増加したことによるものです。

純資産合計は、1,846億43百万円となり、前期末に比べ163億57百万円増加しました。これは、主にその他有価証券評価差額金の増加や、四半期純利益を計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向等を踏まえ、平成24年12月期通期（平成24年1月1日～平成24年12月31日）における連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計処理方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,750	19,389
受取手形及び売掛金	142,131	117,436
商品及び製品	49,357	58,384
仕掛品	7,311	7,744
原材料及び貯蔵品	19,132	18,824
その他	18,953	20,135
貸倒引当金	△1,160	△1,267
流動資産合計	257,477	240,647
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	58,328	57,283
機械装置及び運搬具（純額）	62,840	61,629
その他（純額）	53,439	57,471
有形固定資産合計	174,608	176,383
無形固定資産		
	1,588	1,779
投資その他の資産		
投資有価証券	50,870	55,046
その他	17,981	19,396
貸倒引当金	△740	△679
投資その他の資産合計	68,111	73,763
固定資産合計	244,308	251,927
資産合計	501,786	492,574
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	86,961	81,080
コマーシャル・ペーパー	9,000	—
短期借入金	89,385	81,521
未払法人税等	4,775	6,421
役員賞与引当金	65	49
災害損失引当金	89	8
その他	41,766	36,755
流動負債合計	232,043	205,837
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	43,612	42,972
退職給付引当金	18,402	18,389
その他	19,440	20,730
固定負債合計	101,455	102,093
負債合計	333,499	307,930

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,909	38,909
資本剰余金	31,952	31,952
利益剰余金	117,016	129,371
自己株式	△4,753	△4,761
株主資本合計	183,125	195,471
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,321	13,978
為替換算調整勘定	△26,389	△25,210
在外子会社の年金債務調整額	△5,881	△5,765
その他の包括利益累計額合計	△20,949	△16,997
少数株主持分	6,110	6,169
純資産合計	168,286	184,643
負債純資産合計	501,786	492,574

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	258,220	268,963
売上原価	185,868	184,187
売上総利益	72,352	84,775
販売費及び一般管理費	64,766	64,882
営業利益	7,585	19,892
営業外収益		
受取利息	109	155
受取配当金	739	888
その他	1,298	722
営業外収益合計	2,146	1,766
営業外費用		
支払利息	1,107	1,205
為替差損	4,794	133
その他	1,196	1,172
営業外費用合計	7,099	2,511
経常利益	2,633	19,147
特別利益		
固定資産売却益	248	—
退職給付制度終了益	200	—
特別利益合計	448	—
特別損失		
固定資産除売却損	72	127
退職給付費用	2,747	—
特別損失合計	2,819	127
税金等調整前四半期純利益	262	19,020
法人税等	△254	5,116
少数株主損益調整前四半期純利益	517	13,903
少数株主利益	222	208
四半期純利益	294	13,694

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	517	13,903
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,063	2,656
為替換算調整勘定	277	1,190
在外子会社の年金債務調整額	182	116
持分法適用会社に対する持分相当額	△10	26
その他の包括利益合計	△4,613	3,990
四半期包括利益	△4,096	17,893
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,562	17,647
少数株主に係る四半期包括利益	466	246

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	262	19,020
減価償却費	11,694	12,010
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	203	55
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,887	△8
受取利息及び受取配当金	△848	△1,043
支払利息	1,107	1,205
為替差損益 (△は益)	42	49
固定資産除売却損益 (△は益)	△175	101
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,062	25,124
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△17,058	△8,675
仕入債務の増減額 (△は減少)	248	△6,008
その他	△5,381	△3,089
小計	△10,079	38,741
利息及び配当金の受取額	877	1,020
利息の支払額	△1,065	△1,225
法人税等の支払額	△1,502	△6,357
営業活動によるキャッシュ・フロー	△11,770	32,178
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	164
有形固定資産の取得による支出	△13,607	△13,000
有形固定資産の売却による収入	320	65
無形固定資産の取得による支出	△181	△387
投資有価証券の取得による支出	△10	△83
貸付けによる支出	△233	△330
貸付金の回収による収入	75	62
その他	△83	△1,453
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,720	△14,962

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	10,990	△9,502
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	11,000	△9,000
長期借入れによる収入	3,446	4,575
長期借入金の返済による支出	△3,606	△4,016
自己株式の純増減額 (△は増加)	△4	△8
配当金の支払額	△1,921	△1,341
その他	△347	△458
財務活動によるキャッシュ・フロー	19,556	△19,752
現金及び現金同等物に係る換算差額	649	332
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,285	△2,204
現金及び現金同等物の期首残高	28,161	21,566
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	72	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,948	19,362

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	タイヤ	工業品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	204,656	41,684	246,340	11,879	258,220	—	258,220
セグメント間の内部売上高 又は振替高	872	45	917	1,998	2,916	△ 2,916	—
計	205,528	41,729	247,258	13,878	261,136	△ 2,916	258,220
セグメント利益	5,978	452	6,430	1,148	7,578	6	7,585

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主なものは航空部品事業、スポーツ事業であります。

2. セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	タイヤ	工業品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	211,133	45,916	257,050	11,912	268,963	—	268,963
セグメント間の内部売上高 又は振替高	925	44	969	2,116	3,085	△ 3,085	—
計	212,059	45,961	258,020	14,028	272,048	△ 3,085	268,963
セグメント利益	16,923	2,275	19,199	703	19,902	△ 9	19,892

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主なものは航空部品事業、スポーツ事業であります。

2. セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。